

きほく人奮闘記



鬼北町スポーツ少年団

鬼北JVC

バレーが大好きな小学生25人が集うバレーボールチーム「鬼北JVC」。試合はもちろん、自分自身やライバルなどに対しても、「常に勝ちたい」という気持ちの積み重ねが、勝利につながるということを意識づけるため、応援旗には「常勝」を掲げています。

子どもたちに心からバレーを好きになってもらえるよう、「褒めて伸ばす」をモットーとしている指導者陣。また、大会では、ベンチメンバーに入ったら、全員1回はコートに立ち、試合を経験

してもらおうよう指導しています。それにより、武田八重監督やコーチ陣は、勝ち負けを全員で分かち合い、チーム全体で戦っていることを感じてほしいと願っています。5年生の藤井夢琉ちゃんは「バレーの魅力は、誰かが落ち込んでいても励まし合い、皆で頑張れるところ」と話し、指導者陣の思いは子どもたちに着実に届いていました。

毎年参加している合宿や交流会では、町外チームとともに練習に励み、技術向上を図っている鬼北JVC。武田監督はこの合宿や交流会について、「技術を磨くだけでなく、中学生になっても切磋琢磨できる仲間を作る時間になれば嬉しい」と、笑みを浮かべていました。

武田監督は「鬼北JVCはバレーが大好きな子どもや指導者ばかり。バレーに興味のある方、一緒に汗を流しませんか」と、その魅力をPRしていました。

取材当日、日頃練習場所として使っている鬼北総合公園において、チームやその保護者たちによる奉仕活動が行われました。メンバーたちは「これからボランティア活動に積極的に参加したいので、できることがあればぜひ声をかけてください」と、強く意気込んでいました。



▲奉仕活動の様子

鬼王丸 ほんのぼの日記

作 榎形 浩人
絵 にのみや なつみ



人口	7/31現在
世帯数	
人口	10,480人
男性	4,903人
女性	5,577人
世帯数	5,074世帯
※外国人住民を含みます。	

編集後記
▼多くの人が鬼北の夏を満喫した「せせらぎ魚つちんぐ」。とても暑い1日でしたが、川の中に足を入れると「冷たい」と言ってしまうようになるほど、ひんやりとしていて気持ち良かったです。まだまだ暑い日が続きますが、体調管理には十分にご注意ください。
(悠)

お詫びと訂正
広報きほく 8月号に誤りがありました。お詫びの上、訂正します。
P03 鬼北町を襲った西日本豪雨災害
(誤) 571ミリリットル
(正) 571ミリメートル